



# 青柳園だより

令和4年  
1月号  
文京区立青柳幼稚園

2022年の新年を迎えて

園長 多比良 由恵

新年あけましておめでとうございます。凜と澄み渡る高い空や張り詰めた冷たい空気、4年振り的大雪など、冬を全身で感じながらの新学期のスタートです。

さて、令和3年1月に中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』において「幼児教育の質の向上」の必要性や基本的な考え方等が示されました。

さらに、令和3年5月に経済財政諮問会議で「幼児教育スタートプラン」が文部科学大臣より提示され、【幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会】が設置されました。委員会では、次のような話し合いが進められています。

## 現状と課題

- (1) 幼児教育の質に関する認識の共有
- (2) 発達の段階に応じた特性に配慮しつつ、0～18歳まで見通して学びの連続性を確保するための手立ての不足
- (3) 格差なく学びや生活の基盤を育むことの重要性と多様性への配慮
- (4) 幼児教育の質を保障するために必要な体制等
- (5) 教育の機会が十分に確保されていない家庭や子供への支援

## 目指す方向性

- (1) 「社会に開かれた幼児教育カリキュラム」の実現に向けた、幼児教育の質に関する認識の共有
- (2) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と各園や地域の創意工夫を生かした幼保小の架け橋プログラムの開発・実践
- (3) 全ての幼児のウェルビーイングを高めるカリキュラムの実現
- (4) 幼児教育推進体制等の全国展開による、幼児教育の質の保障と専門性の向上
- (5) 地域における幼児教育施設の役割の認識と関係機関との連携・協働等  
＜中央教育審議会初等中等教育分科会 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会  
—論点整理のたたき台(案)— 第5回 配布資料より＞

このような国の方向性を注視しつつ、本園でも日々の教育活動にしっかりと取り組んで参ります。コロナ禍が継続する中、オミクロン株の感染拡大など、状況は日々変化しています。進級、就学につながる大切な3学期、状況をしっかりと把握しながら文京区版学校感染症対策ガイドラインを指針に、遊びを通じた学びの芽を育む教育を行っていきます。

本年も、どうぞよろしくお願い致します。



雪の園庭

冬季休業中、モルモットのぶりんをお預かりいただきました皆様、ありがとうございました♡